



FUKUI 2024

第
47
回

全国育樹祭

育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地

基本計画

令和5年5月

福井県

第1章 全体計画	1
1 全国育樹祭の概要	
2 福井県での開催状況	
3 第47回全国育樹祭の開催方針	
4 大会テーマ	
5 シンボルマーク	
6 大会ポスター（原画）	
7 開催概要	
8 会場位置図	
第2章 運営計画	6
1 運営体制	
2 輸送計画	
3 宿泊計画	
4 視察	
5 警衛・警護	
6 救護・衛生	
7 消防・防災	
8 参加者サービス	
9 物産等展示・販売	
10 記念品等	
11 昼食	
12 荒天時等対応	
第3章 お手入れ行事計画	8
1 会場の概要	
2 会場設営	
3 行事参加者	
4 行事の概要	
第4章 式典行事計画	10
1 会場の概要	
2 会場設営	
3 式典参加者	
4 式典行事の基本構成	
5 会場計画図	
第5章 併催行事計画	12
1 育林技術交流集会	
2 全国緑の少年団活動発表大会	
第6章 記念行事計画	13
1 記念行事	
第7章 その他	14
1 懇談会（歓迎レセプション）	
2 広報・協賛等	

1 全国育樹祭の概要

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、活力ある森林を次の世代につなげていくことを目的として、昭和52年から毎年秋季に行われている全国行事です。

全国育樹祭では、全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れされるシンボリック的行事に加え、参加者による育樹活動、皇族殿下によるおことばや各種表彰等の式典行事が行われます。

2 福井県での開催状況

本県では過去に、全国植樹祭が2回、全国育樹祭が1回開催されています。

第13回全国植樹祭

- テーマ： 湿雪地帯の拡大造林と森林生産力の増大
- 開催日： 昭和37年4月21日
- 会場： 福井県坂井郡丸岡町女形谷（現坂井市）



第4回全国育樹祭

- テーマ： 緑できずこう豊かな未来
- 開催日： 昭和55年10月11日
- 会場： 福井県坂井郡丸岡町楽間（現坂井市）
グリーンセンター



第60回全国植樹祭

- テーマ： 未来へつなごう 元気な森 元気なふるさと
- 開催日： 平成21年6月7日
- 式典会場： 福井県福井市城戸ノ内町
一乗谷朝倉氏遺跡



3 第47回全国育樹祭の開催方針

福井県は、越前地方の緑豊かな山々と、若狭湾へと繋がる溪流の水の美しさから「越山若水」と称され、豊富な自然や美しい景観の中で人々は、森林からの恩恵を受けながら暮らし、歴史を紡ぎ、多彩な文化を育んできました。

森林は、木材などの資源を供給するだけでなく、水を蓄え、自然災害を防ぎ、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を抑制するなど、健康で安らぎのある暮らしに欠くことのできない重要な役割を担っています。また、SDGs（持続可能な開発目標）の達成にも大きく貢献しています。

この大切な森林が本格的な利用期を迎えていることから、県では、主伐による収益向上と適切な再造林を進める「ふくい型林業経営モデル」を構築し、循環型の林業経営を推進するとともに、県産材利用の拡大については、住宅や公共施設での利用に加え、民間施設における利用を進めるため、県や木材事業者・経済団体が連携し、「ふくいの木づかい企業」を広く展開しています。

また、森に親しみ森を守るため、特用林産物のブランド化や里山トレイル等の森林の多様な活用による山村の振興、次代を担う子どもたちへの森林環境教育、災害に強い森づくりなど、様々な取組みを進めています。

こうした中で全国育樹祭を開催することは、本県の森林づくりや県産材利用を一層推進する絶好の機会と捉え、県内各地で、育樹活動や木工体験などの木に触れて親しむ機会を幅広く県民に提供し、これまで展開してきた「緑と花の県民運動」の一層の推進を図り、「木を伐って使い、植え育てる」機運を県全体で高めていくことを目指します。

本大会は、森林の大切さや木の良さ、木を使うことの意義を再認識するとともに、本県の歴史や伝統文化、新鮮な農林水産物などの魅力を全国に発信し、美しく豊かな水と緑に恵まれたふるさと福井を次の世代につないでいくための行事として開催します。

森林・林業に関する取り組み

- ・主伐・再造林による森林資源の循環利用
- ・県産材の積極的な利用
- ・森林の多様な活用による山村の振興
- ・子供たちへの森林環境教育の推進
- ・災害に強い森づくり

全国育樹祭の開催を契機に

- ・「緑と花の県民運動」を一層推進
- ・森林の大切さや木の良さ、木を使うことの意義を再認識

美しく豊かな水と緑に恵まれたふるさとを次世代へ引き継ぐ
「木を伐って使い、植え育てる」機運を醸成

4 大会テーマ

育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地

●作者 いのうえ やすし 井上 靖 さん（神奈川県小田原市在住）

●講評 新たな芽吹きがやがて緑の大地となるように、育樹活動を通して大切に育てていこうという思いが表現されています。大きく成長した木々からもたらされる様々な恵みは、私たちの豊かで幸せな暮らしにつながっていくというメッセージが感じられます。

5 シンボルマーク

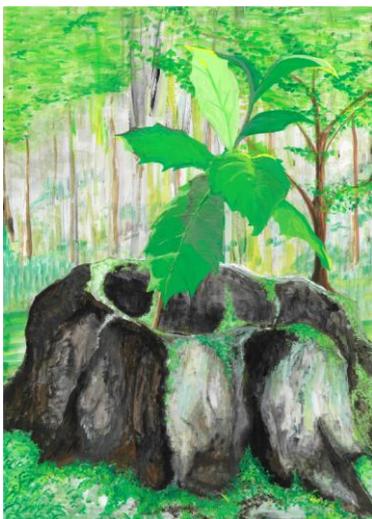


●作者 みやがわ 宮川 さやか さん

（長野県長野市在住）

●講評 まず一目見て、福井を象徴する「F」が際立ったデザインに目が留まります。一般的な樹木のイメージは「緑色」ですが、その源となる「水」を想起する青緑色が新鮮で、持っている種から芽吹いた若葉色がさらに引き立っています。九頭竜川を題材にした個性的な「F」のシンボルマークは、大会テーマとの相乗効果で、福井から発信する新たな独自性が感じられます。

6 大会ポスター（原画）



●作者 みたむら くみ 三田村 空美 さん

（越前市南越中学校1年）

●講評 朽ち果てたかのような切り株から、新しい命が芽吹くドラマチックな森のシーンがとてもみずみずしい。まさに今世界が目標とする、SDGsに対応するような見事な視点です。人の作為や想像を超えた、自然の雄大な生命力を感じさせる表現は大会テーマと呼応する、福井大会にふさわしい広報ポスターです。

7 開催概要

(1) 全国育樹祭行事

- ア 主催 福井県、公益社団法人国土緑化推進機構
イ 開催時期 令和6年秋季
※開催日の決定・公表は令和6年1月（予定）
ウ 参加人数 約5,000人
エ 内容 ○皇族殿下によるお手入れ行事、参加者による育樹活動
○式典行事
・皇族殿下のおことば
・緑化功労者等の表彰
・緑の少年団活動の発表
・メインアトラクション
・大会宣言 など

オ 開催場所 [お手入れ行事] 一乗谷朝倉氏遺跡
[式典行事] 福井県産業振興施設（サンドーム福井）

(2) 併催行事

- ア 育林交流集会
イ 全国緑の少年団活動発表大会

(3) 記念行事

- ア 森林・林業・環境機械展示実演会
イ その他の記念行事
・「国民参加の^{もり}森林づくり」シンポジウム（令和5年秋季）
・福井県緑の少年団活動発表大会（令和5年冬季）
ウ 育樹行事

8 会場位置図



1 運営体制

(1) 実行委員会の設置

県内の関係機関・団体等が一体となって、全国育樹祭の開催に向けた準備を万全なものにするため、令和4年度に「第47回全国育樹祭福井県実行委員会」を設置しました。

(2) 実施本部の設置

全国育樹祭の式典等を円滑に実施・運営するため、令和6年度に「第47回全国育樹祭福井県実施本部」を設置します。

(3) 緊急対応

荒天時の実施判断や非常事態に緊急に対応するための体制を整備します。

2 輸送計画

(1) 輸送日程

第47回全国育樹祭のお手入れ行事当日（併催行事開催）と、式典当日の2日間を基本とします。

(2) 輸送計画

参加者の安全な移動のため、借上車両（バス等）使用を基本に策定します。

(3) 駐車場計画

参加者の円滑な輸送を行うため、会場等周辺に借上車両等用の駐車場を確保します。

3 宿泊計画

(1) 宿泊対象者

県外参加者を宿泊対象者とします。

(2) 宿泊期間

原則として、お手入れ行事前日から全国育樹祭式典当日までとします。

(3) 宿泊施設

福井市を中心に選定します。

4 視察

福井県の森林・林業を知っていただくとともに、自然、伝統文化、特産物等福井県の魅力を楽しんでいただけるよう、主に県外からの参加者を対象に日帰りから1泊2日の視察コースを設定し、おもてなしをします。

5 警衛・警護

福井県警察本部および関係機関等との緊密な連携のもと、警衛・警護について万全を期します。

6 救護・衛生

お手入れ会場、式典会場等における傷病者の救護体制を整備します。また、飲食等による事故防止や感染症予防のため、環境衛生対策に万全を期します。

7 消防・防災

関係機関等との緊密な連携のもと、万一の火災、自然災害等の緊急事態に備えます。

8 参加者サービス

総合案内所、湯茶接待所等を設置し、参加者へのサービスに努めます。

9 物産等展示・販売

式典会場に「おもてなしコーナー」を設置し、福井県の特産物の展示・販売や観光情報の提供を行います。

10 記念品等

全国育樹祭への参加を記念し、福井県らしい記念品を贈呈します。会場で使用する物品のほか、パンフレットなどを配布します。



参加者記念品および配布パンフレット等
(令和4年 大分県)

11 昼食

福井県産の食材を使用した、福井県を満喫できるメニューを検討します。弁当の製造から輸送、保管、配布に至るまで、徹底した衛生管理を行うとともに、容器や包装資材については、環境に配慮したものを使用します。

12 荒天時等対応

行中止の判断基準となるガイドラインの設定のほか、構成員の招集方法を定め、荒天時等の迅速な対応に努めます。

第3章 お手入れ行事計画

平成21年の「第60回全国植樹祭」で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れされるという育樹の実践を通して、「継続して森を守り育てていくことの大切さ」を全国に発信します。

1 会場の概要

(1) 会場

一乗谷朝倉氏遺跡（第60回全国植樹祭開催地） 福井市城戸ノ内町



(2) お手植え木の状況



天皇陛下のお手植え木 ウスズミザクラ、アカマツ、ケヤキ
皇后陛下のお手植え木 ウワミズザクラ、トチノキ、スダジイ

2 会場設営

開催年度に、第60回全国植樹祭の説明パネル、参加者席、テントなどの仮設物の設置を行います。



▲会場設営状況（令和4年（大分県））

3 行事参加者

行事では、大会会長（参議院議長）や特別招待者、介添えを行う緑の少年団員、公募による参加者など約200名が参加し、お手入れの御様子を見守ります。

4 行事の概要

（1）皇族殿下のお手入れ会場御着

大会会長（参議院議長）、公益社団法人国土緑化推進機構理事長、福井県知事などによりお出迎えします。

（2）パネル展示などの御覧

皇族殿下に、第60回全国植樹祭の様子およびお手植え木の生育状況などを福井県知事が説明します。

（3）お手入れ

天皇皇后両陛下のお手植え木に、皇族殿下が枝打ち等のお手入れをされます。



▲秋篠宮皇嗣同妃両殿下によるお手入れ（令和4年（大分県））

第4章 式典行事計画

全国育樹祭の開催方針に基づき、大会テーマを象徴的に表現し、かつ、福井県の特色を活かした式典とします。

1 会場の概要

式典会場は、天候に左右されることがなく、十分な広さと各種機能を有する屋内会場を使用します。

会場：福井県産業振興施設（サンドーム福井）
越前市瓜生町・鯖江市宮前2丁目
最大収容人数：10,000人



2 会場設営

円滑な運営に必要な仮設物の設営を行います。会場の設営にあたっては、福井県産材を積極的に活用します。

(1) 主な仮設計画

御席、参加者席、音響装置、照明装置などを設営します。

(2) 会場装飾計画

参加者を歓迎するため、木材で装飾したプランター等で式典会場および周辺を装飾します。

3 式典参加者

(1) 式典参加者の選定方針

森林・林業関係者をはじめ、次世代を担う青少年やボランティア団体等のほか、一般公募による参加者など、幅広い参加を求めます。

(2) 式典参加者の区分・人数・内訳

区 分	人 数	内 訳
県外参加者	約 1,500 人	・ 福井県知事と公益社団法人国土緑化推進機構理事長との協議による者 ・ 各都道府県知事の推薦による者
県内参加者	約 2,000 人	・ 実行委員会会長の選考による者 ・ 県内各市町長の推薦による者 ・ 一般公募
出演者・運営スタッフ等	約 1,500 人	・ 出演団体（アトラクション、緑の少年団等） ・ 式典音楽隊（吹奏楽隊、合唱隊） ・ 実施本部員
合 計	約 5,000 人	

4 式典行事の基本構成

プロローグ、式典、エピローグの3部構成とします。

(1) プロローグ

式典開催前に、県内外からの多数の参加者に対して、歓迎の意を込めたアトラクションを企画し、実施します。

(2) 式典

屋内施設のメリットを活かした音響・照明等により演出効果を高めたメインアトラクションを企画し、皇族殿下の御臨席にふさわしい厳かな式典とします。

(3) エピローグ

式典行事のフィナーレを飾るにふさわしいアトラクションを企画し、実施します。

5 会場計画図

○式典レイアウトイメージ



1 育林交流集会

林業関係者はもとより、次世代を担う大学生や高校生、ボランティア団体など、森林・林業に関心の高い人たちが参加し、森林・林業が直面する課題等をテーマに講演等を行います。

- 主 催：福井県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開 催 日：式典行事の前日
- 開催場所：福井県内（未定）
- 参加人数：約500人



▲令和4年（大分県）

2 全国緑の少年団活動発表大会

全国から選出された緑の少年団が一堂に集い、森林の大切さや緑を守る活動を知るため、日ごろの活動成果や地域の特色ある活動について発表を行います。

また、団員同士の親交を深めるため、交流集会を行います。

- 主 催：福井県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開 催 日：式典行事の前日
- 内 容：①活動発表大会
 - ・開催場所 福井県内（未定）
 - ・参加人数 約500人
 - ・行事内容 活動発表、各種表彰 等
- ②交流集会
 - ・開催場所 福井県内（未定）
 - ・参加人数 約200人
 - ・行事内容 レクリエーション 等



▲令和4年（大分県）

1 記念行事

(1) 森林・林業・環境機械展示実演会

森林・林業・環境機械の安全使用と、機械化による施業の効率化を関係者に一層普及するとともに、一般参加者の関心・理解を高め、担い手を育成する契機とするため、最新の林業機械を中心とした展示・実演等を行います。

- 主 催：福井県、一般社団法人林業機械化協会
- 開 催 日：式典行事の当日および翌日
- 開催場所：福井県内（未定）
- 参加人数：約17,000人
- 行事内容：高性能林業機械の展示実演等



▲令和4年（大分県）

(2) その他の記念行事

全国育樹祭の開催機運を高めるとともに、県民参加の森林づくりや県産材利用を進めていくために、広く県民が参加できる記念行事を開催します。

ア 国民参加の森林づくりシンポジウム

- 主 催：福井県、公益社団法人国土緑化推進機構、株式会社朝日新聞社、公益財団法人森林文化協会
- 開催時期：令和5年秋季
- 開催場所：福井県内（未定）
- 参加人数：約300人
- 行事内容：基調講演、パネルディスカッション 等

イ 福井県緑の少年団活動発表大会

- 主 催：公益社団法人福井県緑化推進委員会、福井県
- 開催時期：令和5年冬季
- 開催場所：福井県内（未定）
- 参加人数：約100人
- 行事内容：県内緑の少年団による活動発表 等

ウ 育樹行事

- 行事内容：福井県内各地での施肥等育樹活動 等

1 懇談会（歓迎レセプション）

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、大会関係者を招待して懇談会（歓迎レセプション）を開催します。

- 主 催：福井県
- 開 催 日：式典行事の前日
- 開催場所：福井県内（未定）
- 参加人数：約300人

2 広報・協賛等

（1）広報・PR

全国育樹祭の開催理念や事業の展開について、広く普及・浸透を図るために、次の取組みを行います。

- ア 公募により決定した「大会テーマ」「シンボルマーク」「ポスター原画」を効果的に活用します。
- イ 県内各地で開催される「緑と花の県民運動」や様々なイベントと連携しながら、県民に向けて、事前の積極的な情報発信、参加・参画への呼びかけを行います。
- ウ 広報誌、新聞、テレビ、インターネットなどの多様な広報媒体を活用した広報活動を実施します。
- エ 各種広報物品（リーフレット、ポスター、パネル、のぼりなど）を製作し、関係機関などに配布します。

（2）記録

第47回全国育樹祭の開催を記録し、保存するために、記録誌やDVDを制作します。

（3）協賛

第47回全国育樹祭の開催方針に賛同する企業や団体などを対象に、物品・役務・資金の提供、広報・PRへの協力等の協賛参加者を広く募集します。

第47回全国育樹祭基本計画

令和5年4月発行

編集・発行 第47回全国育樹祭福井県実行委員会
福井市大手3丁目17-1（森づくり課内）

連絡先 福井県農林水産部森づくり課全国育樹祭室
0776-20-0749